



1. 《浮出円文切子碗》ササン朝ペルシア 5-7世紀  
平山郁夫シルクロード美術館

## 1. 開催概要

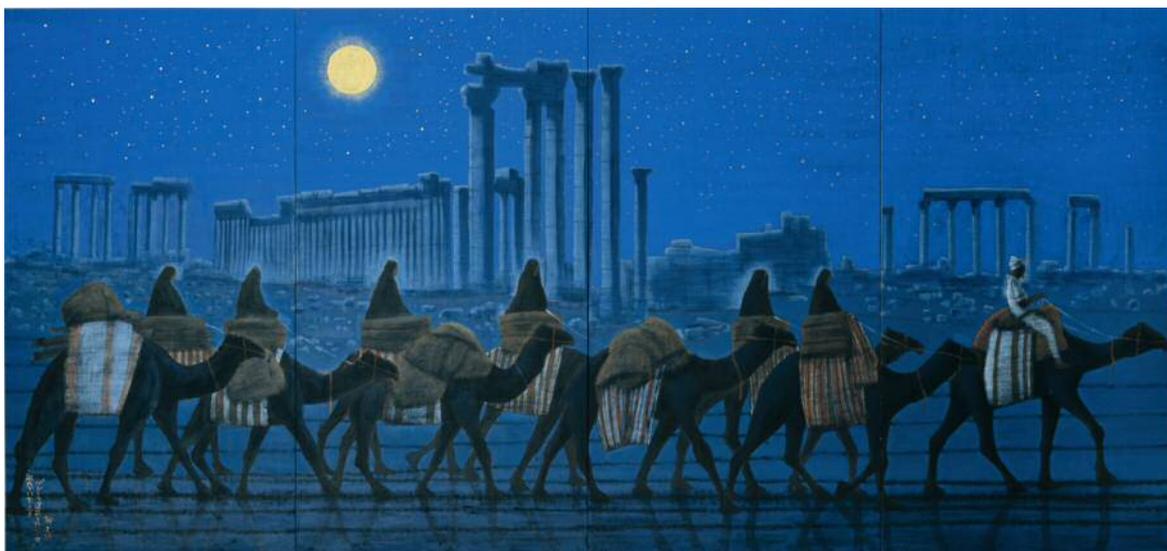
- 展覧会名 雲母 Kira 平山郁夫とシルクロードのガラス展
- 会 期 2017年4月15日(土)～7月9日(日)
- 会 場 富山市ガラス美術館 展示室1・2・3(2、3階)
- 開場時間 午前9時30分から午後6時  
(金・土曜日は午後8時まで。入場は閉場の30分前まで)  
※初日のみ午後1時から開場
- 閉場日 第1、第3水曜日(ただし、5月3日は開場し、5月10日は閉場します)
- 観覧料 一般1,000円(800円)大学生800円(600円)  
※1. ( )内は前売り・20名以上の団体、高校生以下無料  
※2. 前売りは一般のみ  
※3. 本展観覧券で常設展もご覧いただけます
- 前売り券取り扱い場所：アーツナビ、アスネットカウンター、  
TOYAMA キラリ総合案内(1F)
- 主催：富山市ガラス美術館 ○共催：平山郁夫シルクロード美術館
- 後援：北日本新聞社、北日本放送、チューリップテレビ、富山テレビ放送
- 総合監修：宮廻正明<sup>みやまきまさあき</sup> ○協力：東京藝術大学社会連携センター



## 2. 展覧会概要

いにしえの時代より、ガラスはその自由な造形や鮮やかな色彩、輝きによりあらゆる人々を魅了してきました。香油入れ、酒盃、リュトン、トンボ玉、白瑠璃碗…それは貴重な交易品、贈答品としてシルクロードを往き交う人々とともに、駱駝の背に揺られ、また帆船に積まれ、西はローマやエジプト、シリア、東は西安、慶州、そして奈良の正倉院へと運ばれてゆきました。

このシルクロードの精華ともいべきガラスの名品約 350 点を、古代メソポタミアからイスラム時代まで約 3000 年におよぶガラスの歴史と、その驚くべき“超絶”技法とともにご紹介いたします。また、このガラスコレクションを収集した平山郁夫（日本画家 1930－2009）の絵画約 40 点も併せて展示いたします。平山郁夫が描くシルクロードの幻想世界をガラスの名品とともにご堪能ください。（本展の出品作品はすべて平山郁夫シルクロード美術館の所蔵品になります）



2. 平山郁夫《バルミラ遺跡を行く・夜》2006年 平山郁夫シルクロード美術館蔵

### 3. 平山郁夫 年譜

- 1930年 6月 広島県に生まれる。
- 1945年 8月 学徒勤労働員先の広島陸軍兵器支廠（爆心から3km）で被爆する。
- 1947年 4月 東京美術学校（現・東京藝術大学）日本画科予科に入学。
- 1952年 3月 東京美術学校日本画科を卒業。翌月、東京藝術大学美術学部日本画科副手に就任。
- 1953年 9月 再興第38回院展に《家路》が初入選。
- 1955年 5月 前田青邨夫妻の媒酌により、東京美術学校の同期生松山美知子と結婚。
- 1959年 9月 再興第44回院展に《仏教伝来》が入選。自身、「画家としての本当のスタート」という転機となった。
- 1961年 9月 再興第46回院展に《入涅槃幻想》を出品、日本美術院賞（大観賞）を受賞、特待（無鑑査）に推挙される。
- 1963年 6月 東京藝術大学美術学部日本画科非常勤講師に就任。
- 1964年 6月 日本美術院同人に推挙される。
- 1966年 6月 東京藝術大学第1次中世オリエント遺跡学術調査団に参加。
- 1967年 3月 約1年間、法隆寺金堂壁画再現事業に携わり、第3号壁を担当。
- 1968年 7月 アフガニスタンから中央アジア天山山脈周辺の遺跡を取材。はじめての本格的なシルクロード取材となる。
- 1973年 5月 東京藝術大学教授に就任。  
「アレキサンダー大王東征路の考古学的調査団」（団長、江上波夫）に参加。アフガニスタンのカーブルからトルコのイスタンブールまで陸路シルクロードの遺跡を取材。
- 7月 東京藝術大学イタリア初期ルネッサンス壁画学術調査団の一員として、アッシジのサン・フランチェスコ修道院で壁画模写。
- 9月 文化庁から高松塚古墳壁画の現状模写を委嘱され、模写班の責任者として翌年3月まで従事。
- 1983年 9月 第1次東京藝術大学敦煌学術調査団を率いて現地を訪問。
- 1984年 11月 薬師寺玄奘三蔵院の壁画制作に着手。
- 1988年 6月 文化財保護振興財団が発足、理事に就任。  
12月 ユネスコ親善大使に任命される。
- 1989年 11月 日本楼蘭学術文化訪問団の団長として、中国新疆ウイグル自治区の楼蘭を訪問、遺跡を調査、取材。  
12月 東京藝術大学第6代学長に就任。
- 1993年 11月 文化功労者として顕彰される。

- 
- 1996年 4月 日本美術院理事長に就任。
- 1998年 11月 文化勲章を受章。
- 2001年 3月 タリバンによるバーミヤン大石仏破壊について、抗議のアピールを行う。  
以後、文化財の救済を訴える国際的な文化遺産保護のために奔走する。
- 2004年 7月 山梨県長坂町（現・北杜市）に財団法人平山郁夫シルクロード美術館が開館。
- 2009年 9月 第94回院展に最後の出品作となった《文明の十字路を往く アナトリア高原  
カッパドキア トルコ》を出品。出品後は体調を考慮し療養中心の生活となるが、  
病室で制作を続けた。
- 12月 都内の病院で脳梗塞のため永眠。79歳。

## 4. 関連プログラムについて

### 【1. 記念講演会】

① 4月15日（土）14：00～

演題 平山郁夫とシルクロードのガラス

講師 伊東順二（富山市ガラス美術館名誉館長、東京藝術大学社会連携センター特任教授）

ひらやまとうこ  
平山東子（平山郁夫シルクロード美術館学芸室長）

みやまきこまさあき  
宮廻正明（東京藝術大学大学院教授、社会連携センター長）

みやした さ え こ  
宮下佐江子（国土館大学イラク古代文化研究所共同研究員）

② 5月6日（土）14：00～

演題 シルクロードの古代ガラスの魅力

講師 宮下佐江子（国土館大学イラク古代文化研究所共同研究員）

③ 5月20日（土）14：00～

演題 文化交流の道—陸（と海）のシルクロード

たかしなしゅうじ  
講師 高階 秀 爾（大原美術館館長、東京大学名誉教授）

④ 5月27日（土）14：00～

演題 古代地中海美術の魅力

あおやぎまさのり  
講師 青柳正規（前文化庁長官、東京大学名誉教授）

⑤ 6月17日（土）14：00～

演題 古代ゴールドサンドイッチガラス アカンサス文碗の技

さこ だけおみ  
講師 迫田岳臣（倉敷芸術科学大学デザイン芸術学科主任技術員）

なみき ひでとし  
並木秀俊（東京藝術大学社会連携センター特任研究員）

○会場：富山市ガラス美術館2階ロビー

○料金：無料（ただし、展示会場入場には本展観覧券が必要です）

\*事前申し込みは不要です。

## 【2.ギャラリートーク】

①4月16日（日）14：00～

講師 宮下佐江子（国土館大学イラク古代文化研究所共同研究員）

②6月3日（土）14：00～

講師 平山東子（平山郁夫シルクロード美術館学芸室長）

○料金：無料（ただし、展示会場入場には本展観覧券が必要です）

\*事前申し込みは不要です。

## 【3.ワークショップ見学会】

①6月24日（土）（開催時間14：00～16：00）

古代ガラスのコアガラス技法制作見学会

講師 <sup>みやしたりょうこ</sup> 宮下僚子（ガラス作家）

会場：富山ガラス造形研究所（富山市西金屋 80 番地）

（当日、13：30「TOYAMA キラリ」1階に集合し、バスにて会場に集合）

○料金：無料 定員：20名（事前申込制・先着順）

○申込み方法：4月15日（土）～6月22日（木）まで、富山市ガラス美術館に電話予約  
ください。 TEL076-461-3100

\*関連プログラムの日程や会場は都合により変更となる場合があります。詳細は美術館ウェブサイト  
でご案内いたします。



3. 《動物形リュトン》東地中海地域 2-3 世紀  
平山郁夫シルクロード美術館蔵



4. 《ゴールドバンド装飾瓶》イタリア前1-後1世紀  
平山郁夫シルクロード美術館蔵

## 5. 出版刊行物について

展覧会カタログ「雲母 Kira 平山郁夫とシルクロードのガラス展」

定 価：2,000 円（税込み）

発刊日：4 月 15 日（土）（予定）

総合監修：宮廻正明（東京藝術大学大学院教授、社会連携センター長）

執筆：伊東順二（富山市ガラス美術館名誉館長）

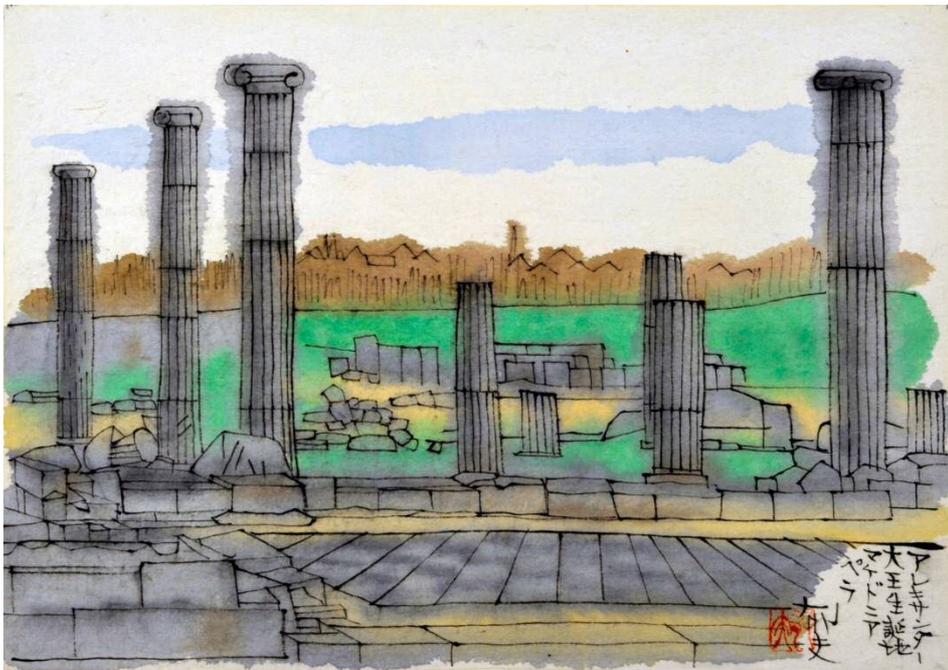
解説執筆：宮下佐江子（古代オリエント博物館）＋平山東子（平山郁夫シルクロード美術館）

編集：平山東子（平山郁夫シルクロード美術館）

アートディレクション・デザイン：山岡茂＋牧修平（スタジオ ギブ）

編集制作：高城昭夫＋明石康正(pad)＋押金純士（押金編集事務所）

発行：富山市ガラス美術館、平山郁夫シルクロード美術館



5. 平山郁夫《ペラの遺跡 アレキサンダー大王生誕地 マケドニア》1995 年 平山郁夫シルクロード美術館蔵

## 6. 広報用画像

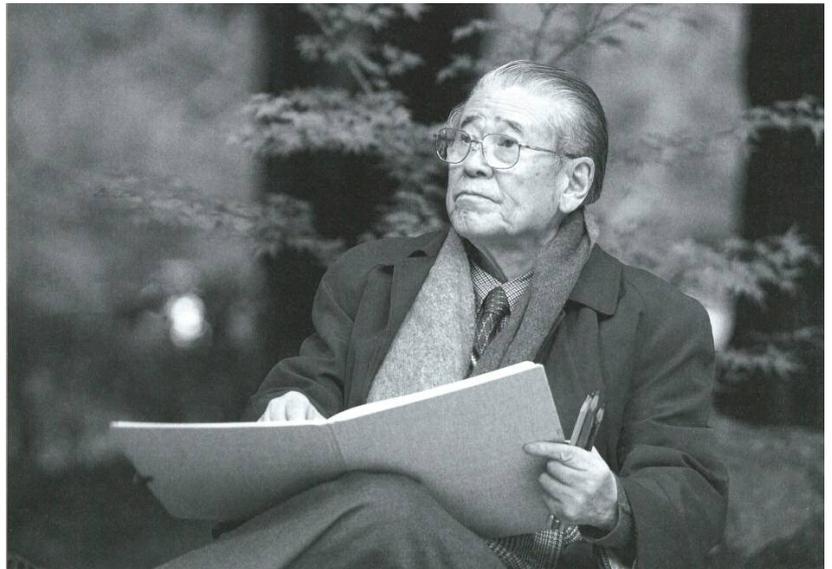
画像1～9を広報用に貸出いたします。

ご希望の方は、別紙（9ページ）の画像貸出し申請書の使用条件をご確認いただきEメールかFAXにて富山市ガラス美術館広報担当へ申請書をお送りください。

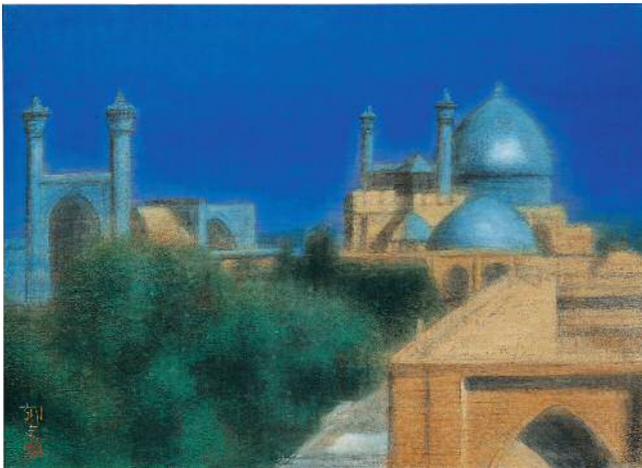
E-mail : bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp FAX : 076-461-3310



6. 《両手付尖底壺》東地中海地域 前6-4世紀  
平山郁夫シルクロード美術館蔵



7. スケッチをする平山郁夫



8. 平山郁夫《シャームスク イスファハン》2007年  
平山郁夫シルクロード美術館蔵



9. 《突起装飾碗》ササン朝ペルシア 3-4世紀  
平山郁夫シルクロード美術館蔵

年 月 日

(宛先) 富山市ガラス美術館長

担当者：\_\_\_\_\_

T e l : \_\_\_\_\_ F a x : \_\_\_\_\_

E - m a i l : \_\_\_\_\_

住所：\_\_\_\_\_

団体名：\_\_\_\_\_

富山市ガラス美術館 画像貸し出し申請書

次のとおり、掲載用素材として「雲母 Kira 平山郁夫とシルクロードのガラス展」の画像利用を申し込みます。

1. 掲載（放映）媒体名：\_\_\_\_\_

2. 媒体種別：TV 新聞 雑誌 フリーペーパー 電子書籍 WEB サイト 携帯媒体  
その他（ \_\_\_\_\_ ）

3. 掲載の趣旨  
別紙のとおり（媒体資料を添付してください）

4. 掲載（放映）日時：\_\_\_\_\_

5. ご希望の画像番号：\_\_\_\_\_

○作品に文字やほかのイメージを重ねることはできません。また、縦横比の変更やトリミング等の編集はご遠慮ください。

○作品掲出には指定するキャプションを必ず入れてください。

○作品写真の2次使用はご遠慮ください。

○商品のPR等の商業利用に関しては画像の提供は出来ません。

○校正ゲラの段階で情報の確認をさせていただきます。

○記事が掲載された場合はDVD、掲載紙、誌を一部ご寄贈いただきますようお願いします。

申請書送付先：富山市ガラス美術館広報担当 E-mail: bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Fax : 076-461-3310